

SPECIAL ADVERTISING SECTION

「脳卒中撲滅」をスローガンに掲げ、横浜で独自の医療システムを構築する。

脳神経外科東横浜病院は、昭和61年の開院以来一貫して政令指定都市・横浜の医療を支えてきた。脳神経外科特化型医療機関として進化し続ける同院の新たな試みについて郭樟吾副院長に聞いた。



副院長 郭樟吾 Shogo Kaku

2001年、東京慈恵会医科大学卒業後、厚木市立病院、独立行政法人国立病院機構横浜医療センターに勤務。藤津和彦部長のもと脳血管障害・頭蓋底外科治療に従事する。東京慈恵会医科大学脳神経外科学講座助教授、東京慈恵会医科大学脳神経外科学講座脳神経外科学講座助教授を経て、2018年に脳神経外科東横浜病院副院長に就任。東京慈恵会医科大学脳神経外科学講座非常勤講師。



医療法人社団のうかい 脳神経外科東横浜病院
〒221-0863 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町888番地
TEL.045-383-1121
https://noukyukai.or.jp/
■ 診療時間：9:00～11:30/14:00～16:30
■ 急患は24時間365日診療可能
■ 休診：水曜・日曜・祝日
■ 診療科目：脳神経外科



学童保育の取り組みは、共働きやシングルマザーの職員からも好評を得ている。福利厚生とらえ、昼食も無料で提供している

患者の命を救うために、システムと体制を整える。いつもと変わらぬ院内。救急患者の受け入れが決まると担当の医師や看護師、ナースなどのスタッフたちは慌てた様子もなく、速やかに持ち場につく。「命にかかわる場面では、何よりもスピードが重要です。適切な診断に基づいた的確な治療を1秒でも早く。そのために患者搬入の動線を考え抜き、ストロークチームの効率的な動き方もシミュレーションを重ねています」

「この疾患の病態ならカテーテルで低侵襲手術の方がいい、時間はかかるけど開頭術で確実に治すべき、と判断するような場面で、技術を習得してないと選択の幅が狭くなってしまふんです」

「頭を切らないから大きな傷も残らない。麻酔からの覚醒もいい。脳動脈瘤が消失し、3日後に退院された患者さんを目の当たりにして、両方でできなければ脳神経外科のスペシャリストとして不十分じゃないか」と。そこから一念発起して、老いた頭にむち打って勉強しました」

「自分が教えられることは全て教える。技術が流出することを恐れるのではなく、みんなで共有して積極的に活用していくのがこれからの医療を進展させる道です」

「例えば、救急搬送の受け入れが決まったら、すぐに館内にそれを知らせる音楽が流れます。医師やスタッフは音楽の種類で搬送の要件を聞き分け、今すべきことを判断し、必要な準備に入ります」

「この2年間、私たち医療従事者は文字通り危機的状況にありました。民間でも、打撃を受けた業界から「ピンチをいかにチャンスに変えるか」ということを実践した企業が躍進を遂げています。私たちがコロナ禍という未曾有の危機をどう、チャンスに変えられるのかにチャレンジしています」

「例えば金一封を支給というやり方がありますが、お金は使えばなくなってしまう。それなら職員が安心して働ける環境にお金を導入が決定した当日には大規模研修に使っていたスペースを学童保育用に確保、フローリング張りだった床に畳を搬入し、子どもたちが安全に過ごせる環境を整えた。職員の唯一の息抜き、楽しみである食事にも配慮し、焼き肉やピザ、時にはキッチンカーを呼んでおいしい食事を提供した。」

「がんになっても病院が守る。あなたの心身の健康に配慮して、まずよというメッセージにもなる。心理的な安全が確保されていることで病院機能が向上、結果として患者ファースト。な対応ができ

「職員ファースト」が、質の高い医療を生み出す。2018年より副院長に就任した郭医師は、超高齢化社会が到来しているわが国においては、「ドラスティックなイノベーションが必要」と語る。

「まずは全職員が安心して働ける環境を整えること。職員ファースト。が病院機能の強化につながる」とも述べています」

「未就学児を抱えた女性職員に『患者さんのために働いてくれ』といった境界があります。それなら、院内にお子さんの面倒を見る仕組みを作って、近くで面倒を見られる環境を整備する。これはすぐにはじめました」

「地域の健康を守る医療従事者が健康を損ねたときにどうするか？がんに罹患してしまうと治療に時間がかかることも考えられます。完治したとしても職場に戻ってくのが難しい現状がある」



考え尽くされた動線に基づき、スピーディな治療が可能に。2023年には新病棟の完成を控え、さらなる改革が進む



医師や看護師だけでなく、医療事務職員も含めた総勢100人のモチベーションを高めるために、食事は工夫を凝らす